



入稿ガイド

[2019年版]

GUIDELINE

INDEX

- 対応アプリケーション・入稿方法 2
- データ作成時のチェックポイント（共通編） 3 4
- データ作成時のチェックポイント（Adobe Illustrator編） 5
- データ作成時のチェックポイント（Adobe Photoshop編） 6
- データ作成時のチェックポイント（Adobe InDesign編） 7
- 印刷可能絵柄サイズ 8 9
- 入稿前のチェックリスト 10 11



対応アプリケーション・入稿方法

推奨

 <p>Adobe Acrobat ver. ~DC 〈形式: pdf〉</p>	 <p>Adobe Illustrator ver. CS3~CC2019 〈形式: ai/eps〉</p>	 <p>Adobe Photoshop ver. CS3~CC2019 〈形式: psd/eps/tiff/jpeg〉</p>	 <p>Adobe InDesign ver. CS3~CC2019 〈形式: indd〉</p>
---	---	---	--

安心安全な『PDF/X-4』での入稿を推奨しております。

※詳しくは別冊「PDF入稿ガイド」をご参照ください。

-  Office製品(Excel、Word、PowerPoint等)での入稿は対応しておりません。
PDFに変換して入稿してください。
※フォントが埋め込みになっていない場合は**文字化け**する可能性があります。
-  Windows環境でIllustrator、InDesign入稿の場合、ファイル名が文字化けを起こしリンクがはずれてしまう可能性があります。**PDFに変換**して入稿してください。

推奨 ①クラウドサービス www.macserver.jp

弊社データサーバーへ直接アップロードしていただけます。
※アカウントを取得する必要があります。担当営業へご相談ください。



②メール入稿 

メールの場合は、大容量ファイル転送サービス(宅ふぁいる便、firestorage等)をご利用の上、下記アドレスへ送信ください。

出力課専用アドレス uploader@wakakusa.ne.jp

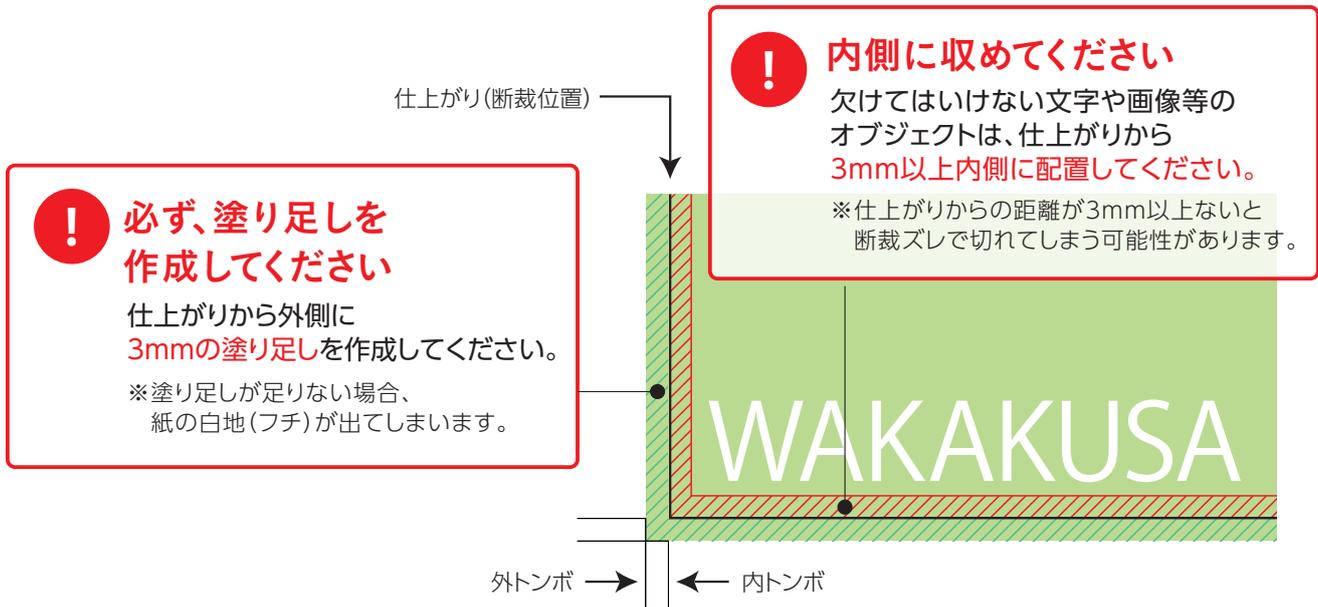
③メディア入稿 

CD、DVD、USBメモリー等を直接お持込いただくか、または郵送等で弊社、『担当営業宛』にお送りください。

※お日にちに余裕を持ってご発送ください。

-  **訂正が発生した場合**
弊社では対応いたしかねます。訂正後、再入稿をお願いします。
-  **入稿ファイルについて** ※不要なデータは入れないでください。
入稿の際は、「印刷データ」「出力見本」を、1つの圧縮ファイルにしてください。
-  **出力見本について**
高解像度JPEGまたは内容の確認できるスクリーンショット(PNG)で作成し、ファイル名は『出力見本.jpg』のように、わかりやすく付けてください。
※推奨JPEGオプション→〈画像〉画質:10、カラーモード:CMYK 〈解像度〉深度:高解像度
※スクリーンショットは、画面上でレイアウト全体が見えるよう、なるべく大きく表示してから作成してください。
※印刷用データをPDFで入稿いただく場合、出力見本がPDFですと印刷データと取り違ふ危険性があります。

化粧断裁（フチなし）について



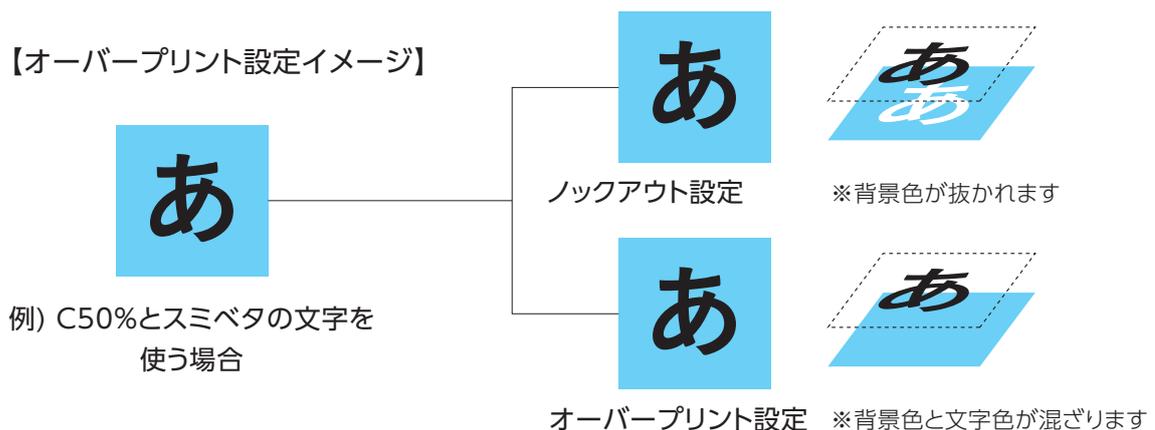
スミ文字のオーバープリント設定



版ズレを気にされるお客様は、スミ文字のオーバープリント設定をお勧めいたします。

こちらにチェックを入れてください。

【オーバープリント設定イメージ】

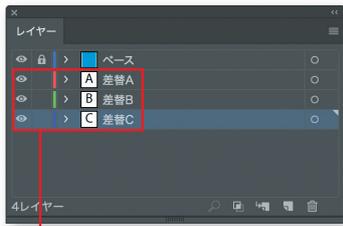


！ ご注意下さい

- 不要なオーバープリント設定はしないでください。
- 白オブジェクトに対して、オーバープリント設定はしないでください。

オーバープリント設定については、『PDF入稿ガイド』をご参照ください。

一部差替の印刷について (例: 店舗名部分)



1つのレイヤーに1つの差替データ

【ベースが同一で、同じ箇所(店名、地図など)が差替の場合】

差替部分をレイヤーで分け、
必要なレイヤーを表示するよう作成してください。

(ベースデータと差替データを別々のファイルで作成し、入稿することも可能)

※ 1つのレイヤー内に複数の差替データを含めないでください。

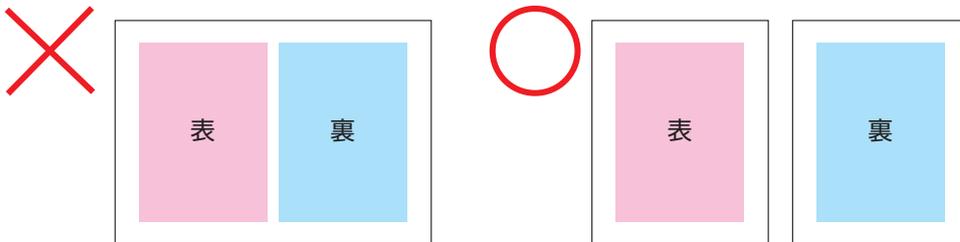
※ 不要なレイヤーは必ず削除してください。

※ ベースデータと差替データを別々のファイルで入稿する場合、
ベースデータと差替データの座標(位置)を必ず合わせてください。

両面印刷について

両面印刷の場合は表裏を別々に作成してください。**必ずファイル名で表裏を明確**にしてください。

例) 表面: wakakusa_B4_omote.pdf 裏面: wakakusa_B4_ura.pdf



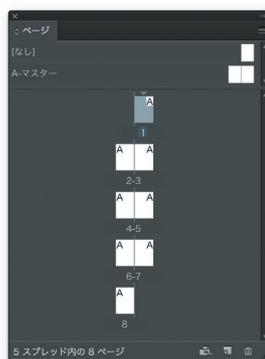
冊子印刷について

冊子印刷の場合は単ページもしくは見開きページで作成し、トンボ・塗り足しを必ず付けてください。
また、PDFにする際は**必ずページ順**に出力してください。



【単ページの場合】

【見開きページ/左綴じの場合】



InDesignでのドキュメント設定は必ず仕上がりサイズで作成してください。
また、**裁ち落としは四辺3mm**に設定してください。

〈 A4:8ページ 左綴じの場合の設定 〉

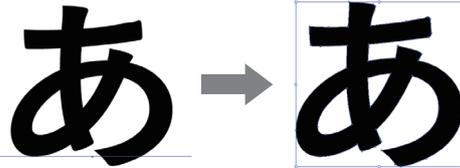
データ作成時のチェックポイント

Ai

Adobe Illustrator 編

※リンク画像データ形式は、psd・eps問いません。
デザイン上、適した形式で配置してください。

①フォントをアウトライン化する



フォントの情報が残ったままですと、意図しないフォントに置き換わってしまいます。

②4色印刷で 特色(スポットカラー)は使用しない

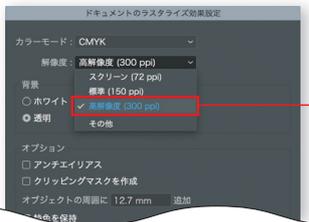


マークは特色設定になっています。
入稿の際は、CMYKに変換してください。



変換後、色味が変わる可能性があります。
最初から使用しないことをお勧めします。

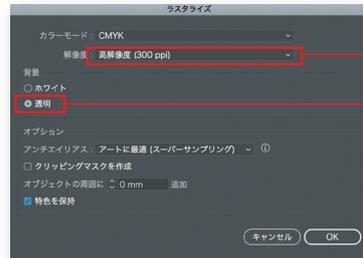
③ラスタライズ効果設定は 高解像度(300ppi)にする



ドロップシャドウやぼかし効果などに
影響があります。

設定 「効果」→「ドキュメントのラスタライズ効果設定」

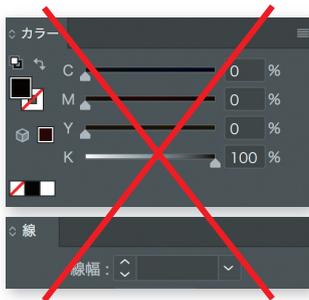
④複雑なパスはラスタライズ処理をする



複雑なパスは、RIP処理で
エラーが発生する可能性があります。

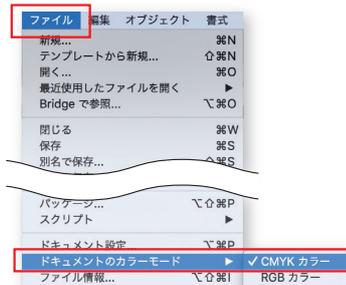
設定 「オブジェクト」→「ラスタライズ」で上記のように設定

⑤罫線を塗りで設定しない



「塗り」のみの罫線は印刷されません。
必ず0.3pt以上の「線」で作成してください。

⑥ドキュメントのカラー設定はCMYKに



RGBカラーの場合
色味が変わる可能性があります。

設定 「ファイル」→「ドキュメントのカラーモード」→「CMYK」

データ作成時のチェックポイント



Adobe Photoshop 編

①画像の解像度について（推奨）

【CMYK・グレースケールの場合】原寸で300~350dpi

【モノクロ2階調の場合】原寸で1200dpi

※これ以上解像度を上げて印刷には影響がありません。

②RGB画像のCMYK・グレースケール変換について



入稿前に変換してください。
RGB画像を配置してある場合、色味が変わる可能性があります。

設定 「イメージ」→「モード」→「CMYKカラー（またはグレースケール）」

③PSDはレイヤーを統合する ▶ 図1参照



テキストレイヤーや非表示レイヤーなど、
印刷に不要なレイヤーが残っている場合、
不具合が起こる可能性があります。

設定 「レイヤー」→「画像を統合」



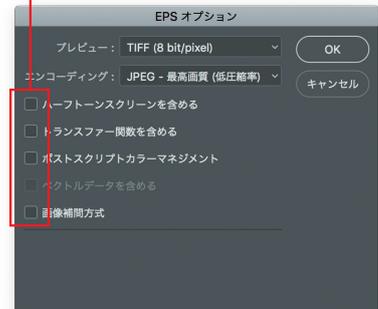
(図1)

④EPS保存する際の注意点 ▶ 図2参照



EPSオプションのチェックを全て外してください。
グレースケールで保存したはずが、4色に変換されるなどの
不具合が起こる可能性があります。

チェックを全て外してください。



(図2)

⑤リンク画像のファイル名について



リンク画像のファイル名が単純な場合(01、02やA、Bなど)
ファイル名が重複しやすく、同じPC内にある関係のない
画像をリンクしてしまう可能性があります。

データ作成の注意点

Id

Adobe InDesign 編

① フォントをアウトライン化する

InDesignでフォントを使用した場合は、アウトライン化の処理をしてください。

ver. CS3・CS4の場合 ▶



設定
「書式」
↓
「グラフィックス化」

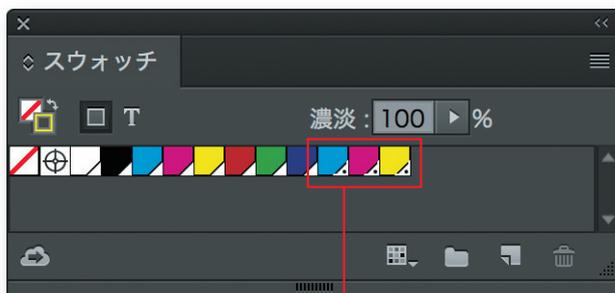
ver. CS5・CS6・CCの場合 ◀



設定
「書式」
↓
「アウトラインを作成」

② 4色印刷で特色(スポットカラー)は使用しない

特色(スポットカラー)を使用した場合、入稿の際は、CMYKに変換してください。



■ マークは特色設定になっています。



変換後、色味が変わる可能性があります。
最初から使用しないことをお勧めします。

輪転サイズ (袋・一刀) / 印刷可能サイズ

版下はアートボードサイズで制作してください。

字面は当社推奨サイズで制作してください。

字面が推奨サイズに収まらない場合、最大でも印刷領域に収まるようお願いいたします。
印刷領域に収まらない情報は印刷されない危険性がございます。

B2		D2	
アートボード	字面	アートボード	字面
766 × 544mm	推奨 728 × 515mm	813 × 544mm	推奨 784 × 515mm
	印刷領域 750 × 530mm		印刷領域 800 × 530mm
B3		D3	
アートボード	字面	アートボード	字面
544 × 383mm	推奨 515 × 364mm	544 × 406mm	推奨 515 × 389mm
	印刷領域 530 × 370mm		印刷領域 530 × 391mm
B4		D4	
アートボード	字面サイズ	アートボード	字面
383 × 272mm	推奨 364 × 257mm	406 × 272mm	推奨 389 × 257mm
	印刷領域 370 × 259mm		印刷領域 391 × 259mm

長B3	
アートボード	字面
766×272mm	推奨 728×257mm
	印刷領域 750×259mm



化粧断裁（絵柄で断裁）サイズ

	アートボード
B2	728×515mm
B3	515×364mm
B4	364×257mm
長B3	728×257mm
D2	778×515mm
D3	515×389mm
D4	389×257mm

アートボード = 仕上りサイズ

- ※ 左記サイズに
 - ・周囲3mmの塗り足し
 - ・断裁トンボの付加をお願いします。
- ※ 断裁時切れてほしくない文字・絵柄等はアートボードから内側3mm以上内側に配置してください。
- ※ 化粧断裁に関しては、P3「化粧断裁（フチなし）について」をご確認ください。

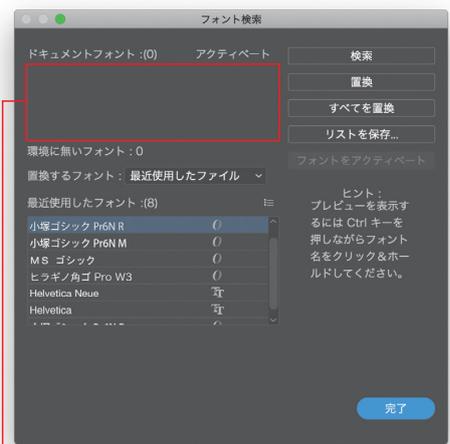
[フォントのアウトライン化とフォント検索]



フォントをアウトライン化する



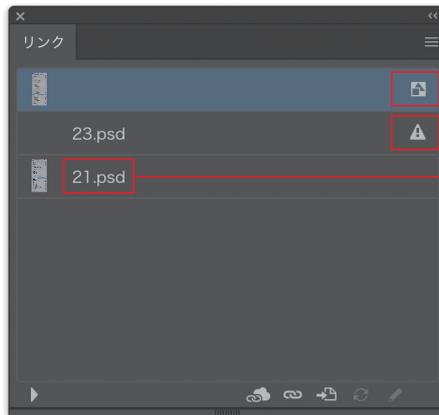
全てのフォントがアウトライン化されたかを確認



この枠内にフォントの表示が無ければOK

※レイヤー、オブジェクトにロックがかかっているとアウトライン化できません。

[リンク画像の確認]



○ 画像埋め込み

✗ リンク切れ

○ リンク画像 (正常)

[色数の確認]



オーバープリントプレビューにチェック

目のマークの表示・非表示で
使用色の確認ができます。

入稿前チェックリスト

入稿前に、もう一度ご確認ください。

- フォントはアウトライン化しましたか？**
必ずフォント検索でフォントの使用が無いか確認してください。

P10 参照

- リンク画像は全て揃っていますか？**
画像埋め込みの場合は埋め込み忘れはありませんか？

P10 参照

- 不要なオブジェクト、不要なレイヤーは残っていませんか？**

- 4色プロセスカラー印刷で
特色（スポットカラー）は使用していませんか？**
特色（スポットカラー）は必ずスウォッチパレットより削除をお願いします。

P5 参照

- 色数は合っていますか？**
1色印刷、2色印刷のデータに4色は使用していませんか？

P10 参照

- データのサイズは指示と合っていますか？**
絵柄は印刷範囲を超えていませんか？

P8.P9 参照

- 絵柄はトンボのセンターに配置されていますか？**

- 化粧断裁に必要な塗り足しはありますか？
また、断裁トンボは含まれていますか？**
化粧断裁の場合、仕上りから3mm内にオブジェクトを配置していませんか？

P3 参照

**入稿前チェック後、イラストレーター等の入稿も可能ですが、
安心安全なPDF/X-4での入稿を推奨しております。**



本社 TEL.0274-62-1806 FAX.0274-64-0973
〒370-2344 群馬県富岡市黒川 710-1

入稿データ作成に関するお問い合わせは【出力課】または【担当営業】まで

「入稿ガイド」「PDF入稿ガイド」は、若草印刷ホームページよりダウンロードすることができます。 <http://www.wakakusa.ne.jp>

本ガイドの内容は、予告なく変更される場合があります。本ガイドに記載のない設定を使用する際は、事前にご相談ください。

推 奨



PDF 入稿ガイド

【2019年版】

GUIDELINE

INDEX

● PDF入稿のメリット	2
● PDF作成前のチェックポイント（共通編）	3
● PDF作成前のチェックポイント（オーバープリント編）	4 5
● PDF作成前のチェックポイント（特色と透明効果編）	6
● PDF作成前のチェックポイント（アートボード設定編）	7
● PDF作成手順（Adobe Illustrator編）	8 9
● PDF作成手順（Adobe InDesign編）	10 11
● プリフライトチェック	12 13
● 色数の確認	14
● PDF入稿前のチェックリスト	15



株式会社 若草印刷
WAKAKUSA PRINT Co.

当社では、安心してスムーズな入稿を可能にする『PDF入稿』を推奨しております。



PDF入稿のメリット

メリット ①

PCの環境を選びません

PDFファイルはWindows、MacOSなどOSを問わず、やり取りが可能です。

メリット ②

画像の添付漏れがなくなります

PDFファイルに画像を埋め込むことで画像の添付漏れが防げます。

メリット ③

フォントを気にせず作業できます

PDFファイルに埋め込むことで文字化けがなくなります。

※埋め込みが出来ないフォントもあります。ご確認ください。

メリット ④

データの容量が小さくなります

入稿ファイル数が少なくなればデータ容量も小さくなり、やり取りがスムーズに行なえます。

推奨

PDF/X-4について

PDF/X-4の最大の特徴は、**透明効果を保持**できることです。

当社のRIPはPDF/X-4を処理できる

APPE (Adobe PDF Print Engine)を導入しております。



PDF/X-1aの場合、透明効果が分割されスジが入るなどの**不具合が生じる可能性**があります。

PDF作成前のチェックポイント

チェックポイント

RGB画像のCMYK・グレースケール変換について

PDF/X-4ではRGB画像がそのままRGBとして扱われますので

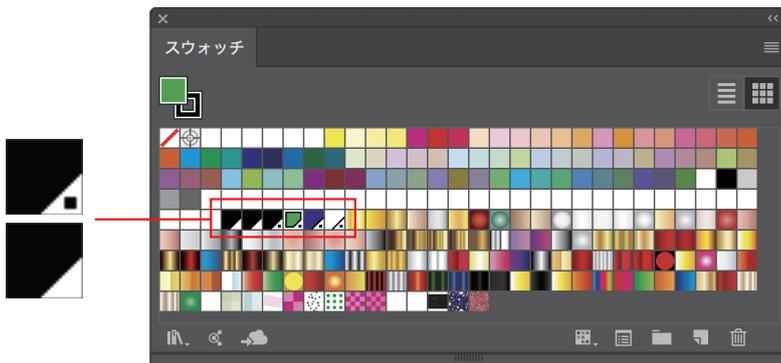
PDF作成前に変換処理をしてください。



RGB画像は、当社RIPでCMYKへ自動変換されます。その際、画像の色味が変わる可能性があります。責任は負いかねますので、必ず入稿前に変換してください。

チェックポイント

4色印刷で特色(スポットカラー)は使用しない



マークは特色設定になっています。入稿の際は、CMYKに変換してください。



変換後、色味が変わる可能性があります。最初から使用しないことをお勧めします。

チェックポイント

フォントをアウトライン化する

PDFに埋め込むことが可能なフォントは問題ありませんが、埋め込みが出来ないフォントの場合は、**アウトライン化**の処理をしてください。

PDF作成前のチェックポイント

チェックポイント

オーバープリント設定について



④ スミ文字100%のオーバープリント設定は属性パネルで選択してください。

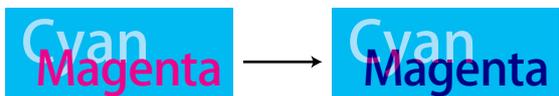
ここのチェックをご確認ください。



- 不要なオーバープリント設定はしないでください。
- 白オブジェクトに対して、オーバープリント設定はしないでください。

オーバープリントについて

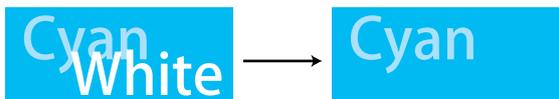
オーバープリントとは製版指定の一種で「他の版に対して色を乗せる」指定です。
注意して頂きたいのは不要なオーバープリントとホワイトオーバープリントです。



マゼンタにオーバープリント設定をすると、意図しない色に。

不要なオーバープリント

不要なオーバープリントが設定されているとトラブルの原因になります。



白にオーバープリント設定をすると、見えなくなります。

ホワイトオーバープリント

ホワイト(CMYKすべて0%)でオーバープリント設定してしまうと、そのオブジェクトは消えてしまいます。



ノックアウトの状態



オーバープリントの状態(下地が透けてしまう)

広範囲のブラック100%に注意

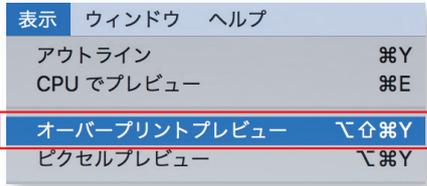
広範囲にブラック100%が置かれている場合に、下地が透けることがあります。
 リッチブラック(C30%M30%Y30%K100%)にすることで回避されます。

オーバープリント確認方法



Illustrator、InDesign共に以下の方法で画面上にて確認ができます。

設定 「表示」→「オーバープリントプレビュー」

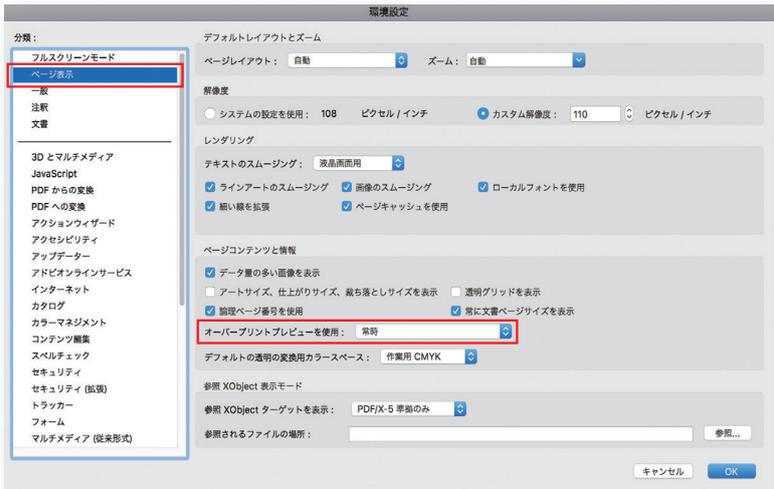


ウィンドウのタイトルバーに「オーバープリントプレビュー」と表示され、画面上でオーバープリントの状態を目視できます。

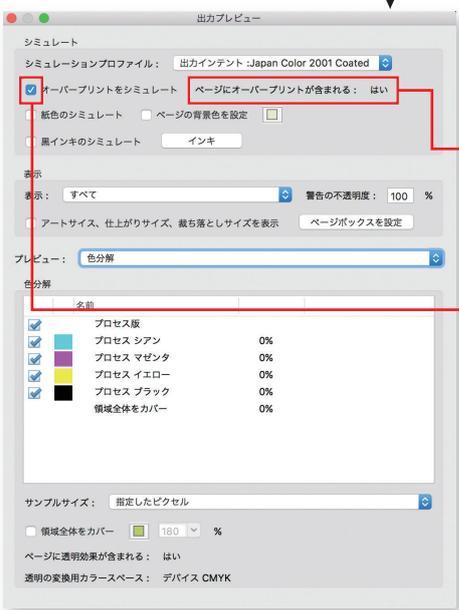


PDFは以下の方法で確認ができます。

設定 「環境設定」→「ページ表示」→「オーバープリントプレビューを使用」



設定 「ツール」→「印刷工程」→「出カプレビュー」



「はい」になっていればオーバープリントが含まれています。

チェックのON、OFFで表示が変わります。

PDF作成前のチェックポイント

チェックポイント

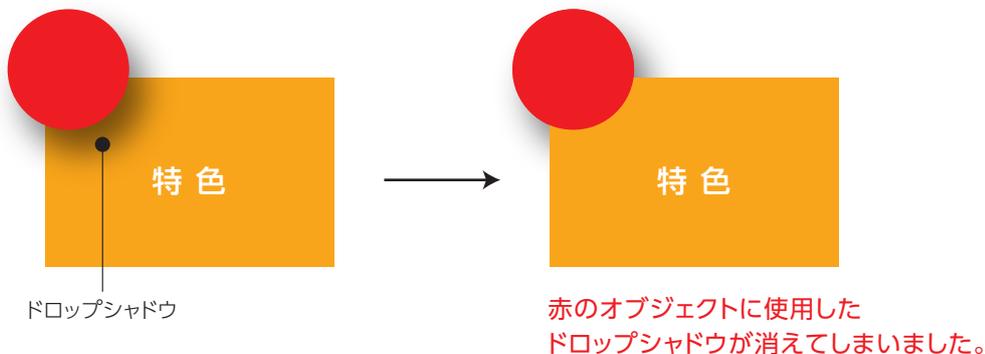
特色と透明効果について

PDF/X-4以外の規格ですと予期せぬ結果が生じ、
トラブルの原因となります。

PDF/X-4は、**透明効果を保持**できますのでお客様の意図した通りの結果が望めます。

【透明部分(ドロップシャドウ)の下に特色が使用された場合】

※当社で実際に発生したトラブルの一例です。



この他にも、オブジェクトが抜け落ちて白くなってしまう事例もありました。

お客様のアプリケーションと当社の**環境の違い**により、
このようなトラブルが発生してしまうことがあります。



4色印刷に特色が使われているとトラブルの原因となります。
PDFを作成する前に変換するか、最初から使用しないことをお勧めします。

PDF作成時のアートサイズ設定

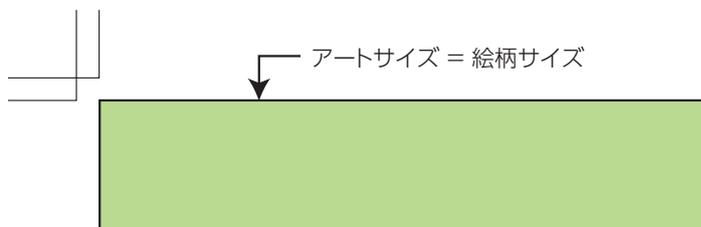
アートサイズ

Ai Illustratorの場合「アートボードサイズ」
Id InDesignの場合「ページサイズ」

PDFはデータ内で設定されたアートサイズを基準に出力されます。

●断裁なし（余白あり仕上がり）の場合

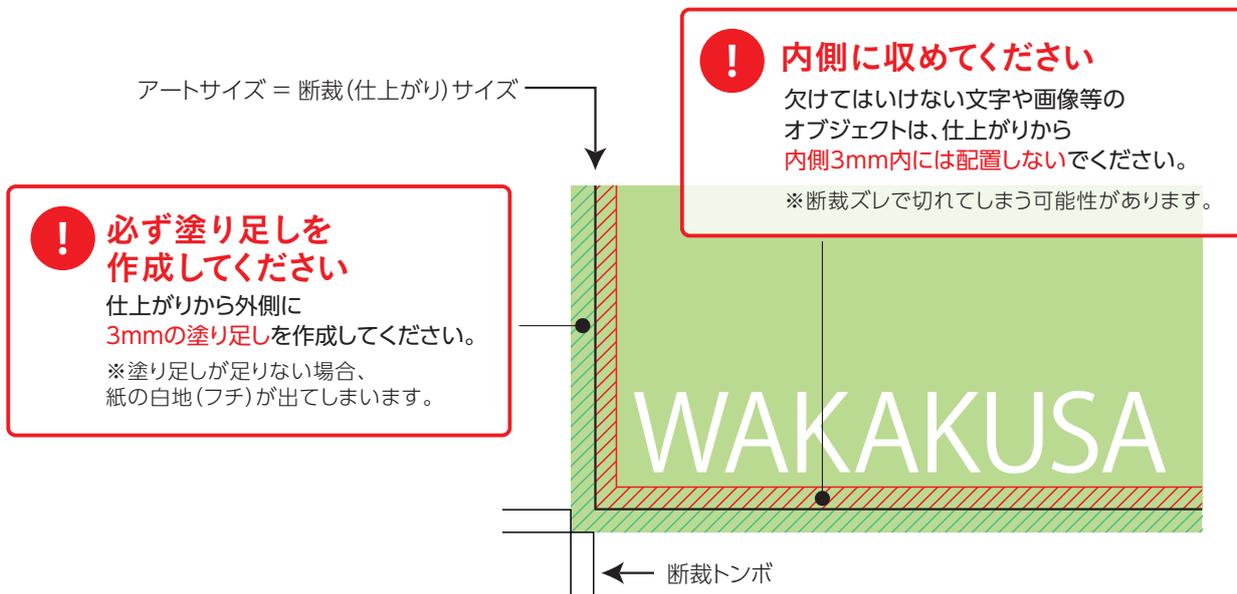
断裁しない印刷の場合、絵柄のみのPDFを作成します。アートサイズは絵柄サイズと同じ値に設定します。



! アートサイズより外側の余白、塗り足し、飛び出したオブジェクト等は印刷されません。

●化粧断裁（余白なし仕上がり）の場合

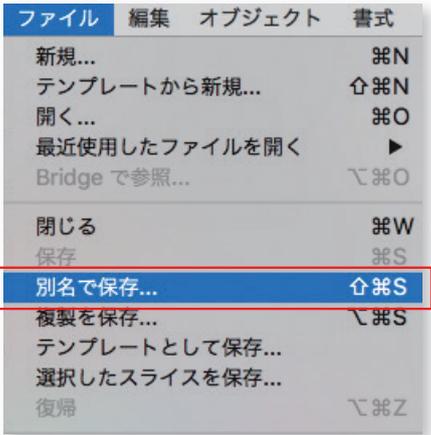
化粧断裁する場合、断裁トンボと塗り足しの付いたPDFを作成します。
アートサイズは断裁する（仕上がり）サイズと同じ値に設定します。



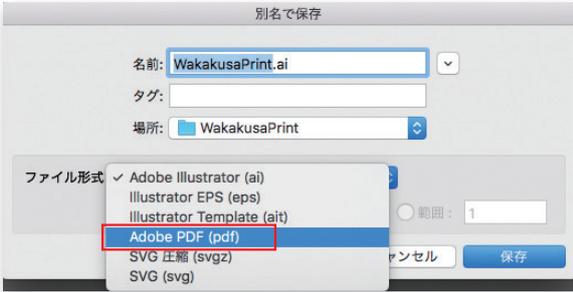
PDF作成手順 (イラストレーターの場合)



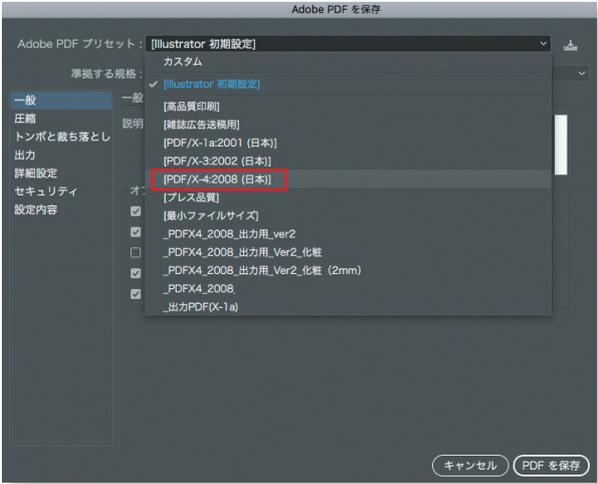
Adobe Illustrator 編



- 1. Illustratorファイルを開きます。
- 2. ファイルメニューから〈別名で保存〉します。



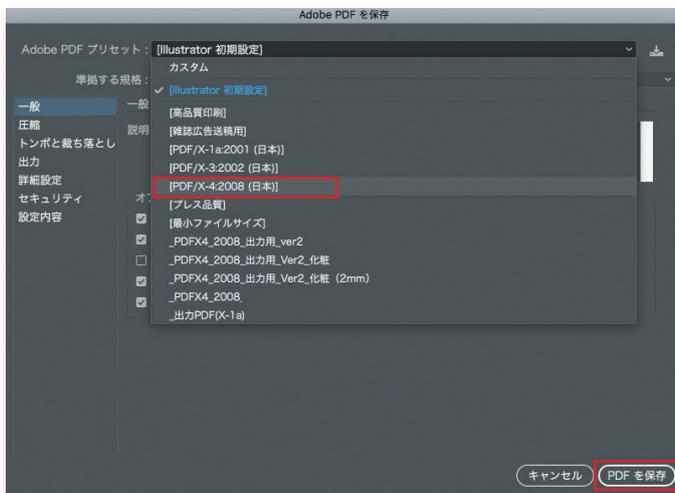
- 3. ファイル形式を〈Adobe PDF(pdf)〉に変更し、〈保存〉を押してください。



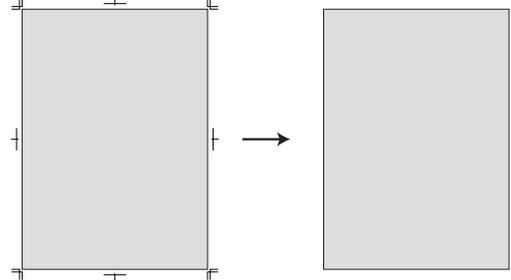
- 4. Adobe PDF プリセットから〈PDF/X-4:2008(日本)〉を選択します。

5-1 断裁なし(余白あり仕上げ)の場合

断裁なしの場合は、このまま〈PDFを保存〉を押してください。
断裁なし用PDFが出力されます。



〈PDFイメージ〉

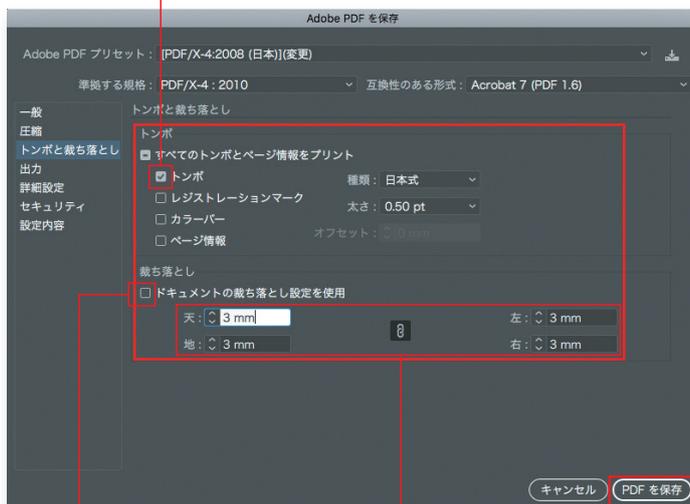


絵柄のみのPDFに

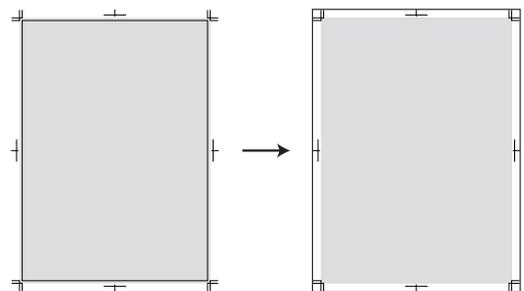
5-2 化粧断裁(余白なし仕上げ)の場合

化粧断裁の場合、オプションメニューの〈トンボと裁ち落とし〉を選択し、下図のように入力します。
入力後、〈PDFを保存〉を押してください。化粧断裁用PDFが出力されます。

トンボにチェックを入れる



〈PDFイメージ〉



断裁トンボと塗り足しの付いたPDFに

ドキュメントの
裁ち落とし設定のチェックを外す

全て3mmに設定

設定

- 〈トンボ〉にチェック
- 〈ドキュメントの裁ち落とし設定を使用〉のチェックを外す
- 天地左右4箇所の入力欄に〈3mm〉と入力

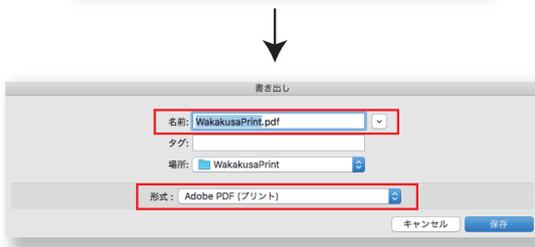
PDF作成手順 (インデザインの場合)

Id

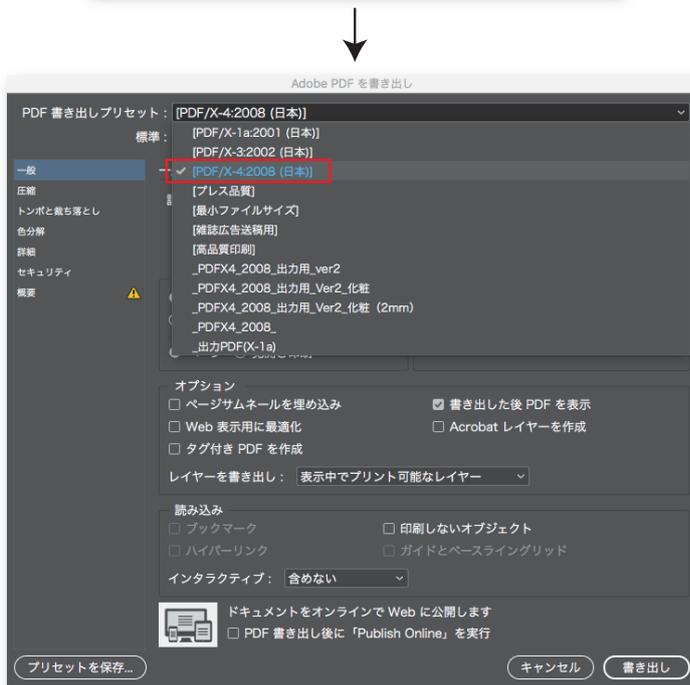
Adobe InDesign 編



1. InDesignファイルを開きます。
2. ファイルメニューから〈書き出し〉を選択します。



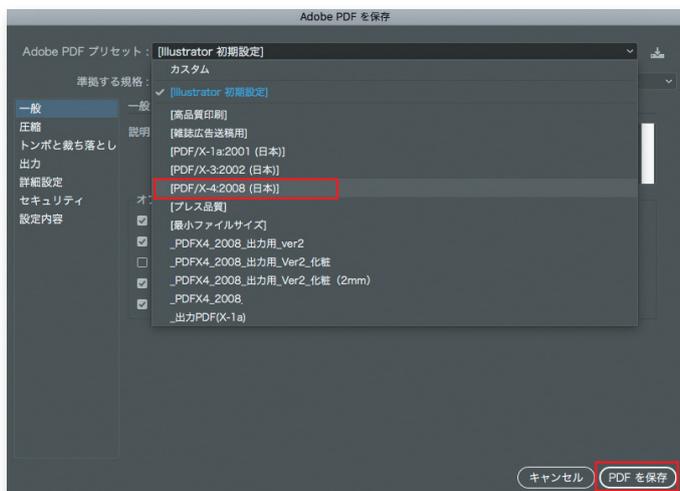
3. 名前が正しいか確認し、形式〈Adobe PDF(プリント)〉で〈保存〉を押してください。



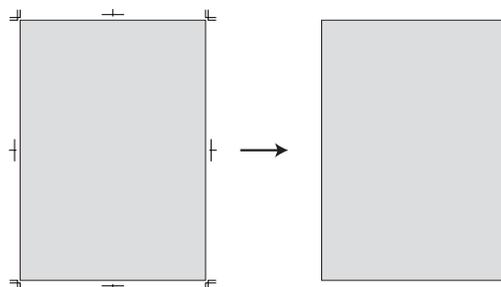
4. PDF 書き出しプリセットから〈PDF/X-4:2008(日本)〉を選択します。

5-1 断裁なし(余白あり仕上げ)の場合

断裁なしの場合は、このまま〈書き出し〉を押してください。
断裁なし用PDFが出力されます。



〈PDFイメージ〉

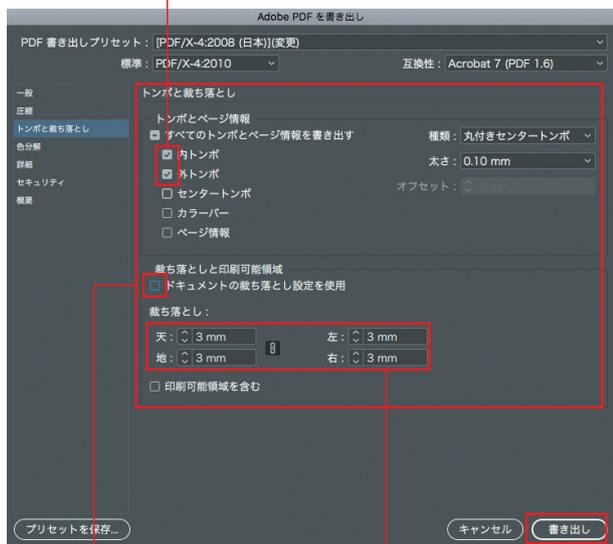


絵柄のみのPDFに

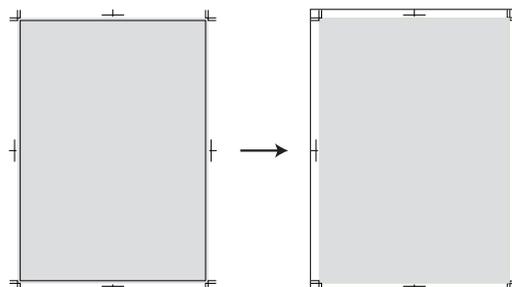
5-2 化粧断裁(余白なし仕上げ)の場合

化粧断裁の場合、オプションメニューの〈トンボと裁ち落とし〉を選択し、下図のように入力します。
入力後、〈書き出し〉を押してください。化粧断裁用PDFが出力されます。

「内トンボ」「外トンボ」にチェックを入れる



〈PDFイメージ〉



断裁トンボと塗り足しの付いたPDFに

ドキュメントの
裁ち落とし設定のチェックを外す

全て3mmに設定

設定

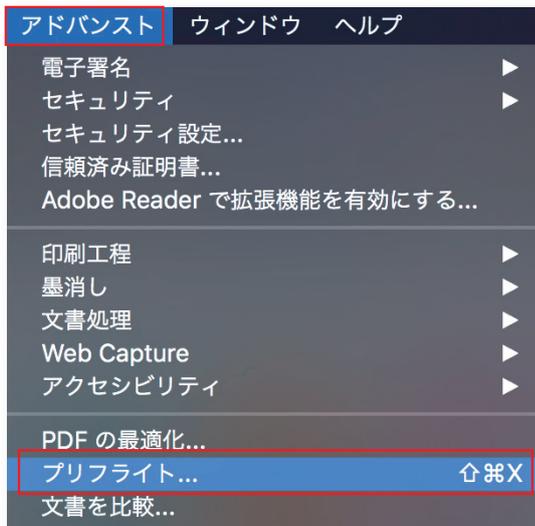
- 〈内トンボ〉と〈外トンボ〉にチェック
- 〈ドキュメントの裁ち落とし設定を使用〉のチェックを外す
- 天地左右4箇所の入力欄に〈3mm〉と入力

PDFプリフライトチェック

Adobe Acrobat Proをご使用であれば、プリフライトチェック機能を使って、「フォントが埋め込まれていない」「注釈を使用している」「セキュリティがかかっている」など、作成されたPDF上で**印刷に不具合が起こる可能性があるかを確認**することができます。



プリフライトチェックは、印刷の品質を保証するものではありません。
また、塗り足しや画像解像度などの制作上の問題は確認できません。
必ず制作データでご確認の上、チェックを行ってください。



〈 Acrobat8の場合のメニュー 〉

1. 作成した入稿用PDFファイルを Adobe Acrobat Proで開きます。
2. メニューから「プリフライト」を選択します。

Acrobat8の場合

「アドバンスト」→「プリフライト」

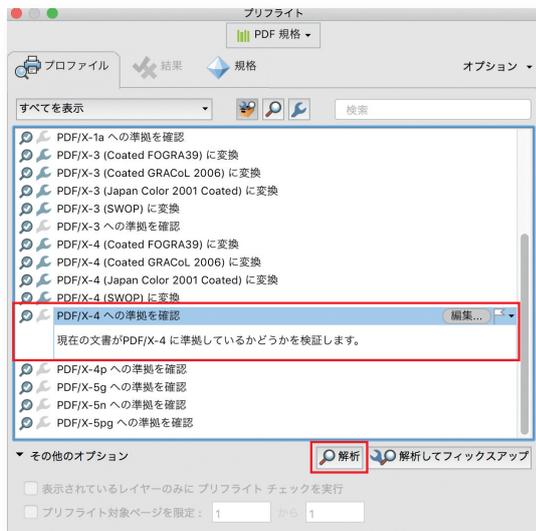
Acrobat9の場合

「アドバンスト」→「印刷工程」→「プリフライト」

AcrobatX,XIの場合

「ツール」→「印刷工程」→「プリフライト」

※Acrobat Readerでは使用できません。



3. 「プロファイル」から「PDF/X-4への準拠を確認」を選択し、「解析」を押します。

問題がない場合

入稿データとしてご使用ください

問題がある場合

制作データで問題を解決



再度プリフライトチェック

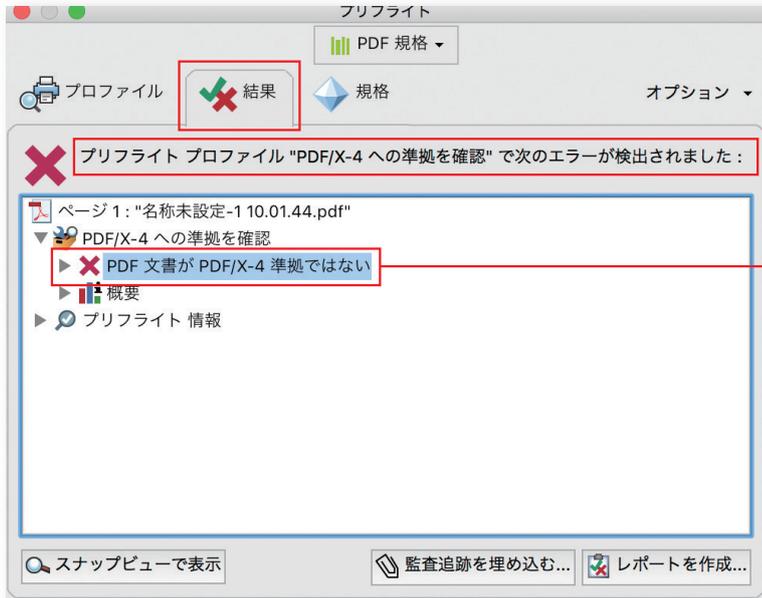


問題がなければ入稿データとしてご使用ください



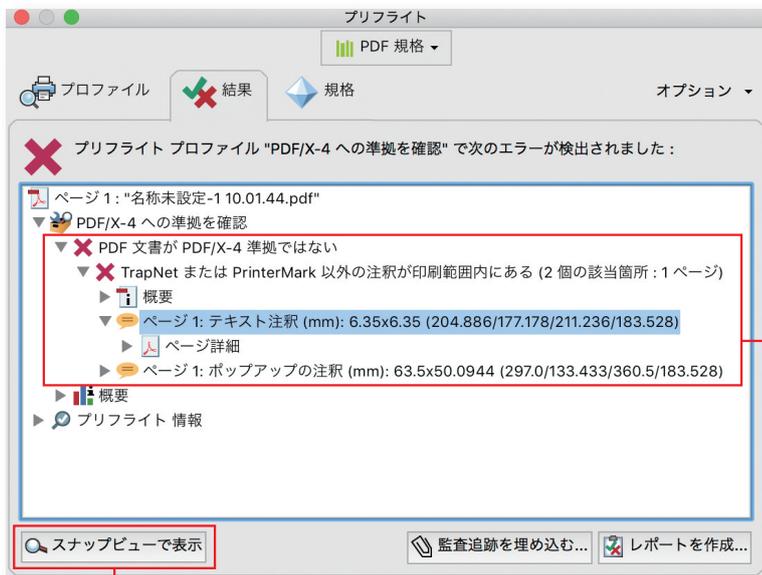
問題がある場合

検出された問題の確認方法



解析後、問題が検出された場合、「結果」タブ内で内容を確認することができます。

問題概要が表示される



問題の左にある「▶」をクリックすると、より詳細な内容が表示されます。問題内容を選択し、ウィンドウ左下の「スナップビューで表示」をクリックすると、PDF上で、該当する問題箇所を確認することができます。

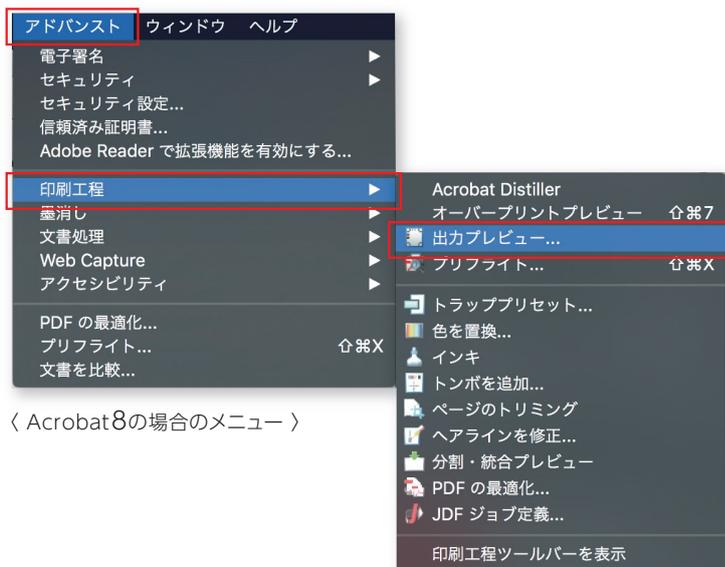
「▶」をクリックするとさらに詳細な表示がされる

※問題が解決出来ない場合は弊社出力課までご相談ください。

上記該当する問題箇所を選択し、クリック

色数の確認

入稿用PDFに対して、Adobe Acrobat Proの出力プレビューを使って色の使用状況を確認することができます。



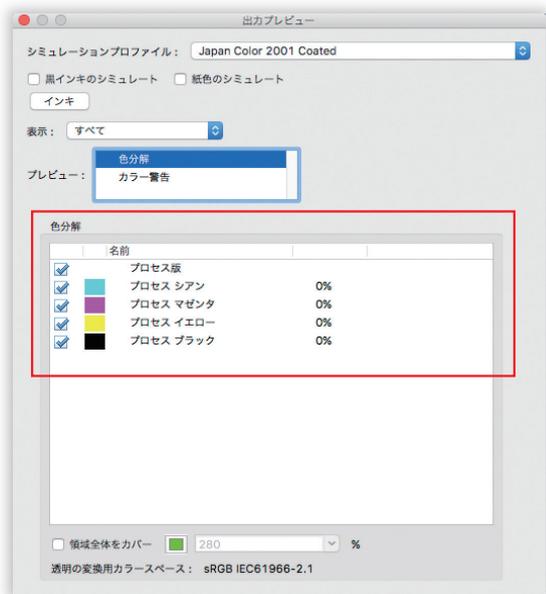
〈 Acrobat 8 の場合のメニュー 〉

1. 作成した入稿用PDFファイルを Adobe Acrobat Proで開きます。
2. メニューから「出力プレビュー」を選択します。

Acrobat 8,9 の場合
 「アドバンスト」→「印刷工程」
 →「出力プレビュー」

.....

Acrobat X, XI の場合
 「ツール」→「印刷工程」
 →「出力プレビュー」



3. 「色分解」のチェックを入れた色の使用箇所が表示されます。



チェックの入っている色が表示される

PDF入稿前チェックリスト

入稿前に、もう一度ご確認ください。

色数は合っていますか？

特色（スポットカラー）は使用していませんか？
1色印刷、2色印刷のデータに4色は使用していませんか？

P3.P14 参照

フォントはすべて埋め込まれていますか？
または、アウトライン化してありますか？

化粧断裁の場合、仕上がりから3mm内にオブジェクトを
配置していませんか？

(別冊) 入稿ガイドP3参照

化粧断裁に必要な塗り足しはありますか？
また、断裁トンボは含まれていますか？

(別冊) 入稿ガイドP3参照

仕上りのサイズは正しいですか？

ご発注のサイズと合ってますか？
絵柄サイズは印刷範囲内ですか？

(別冊) 入稿ガイドP8.P9参照

絵柄はドキュメントのセンターに配置されていますか？

絵柄は印刷範囲を超えていませんか？

PDF/X-4準拠で作成しましたか？

プリフライトのチェックはお済みでしょうか？

P12 参照



この他、注釈を使用したり、セキュリティ設定をされている
データは印刷ができませんので、必ず設定を解除してください。



本社 TEL.0274-62-1806 FAX.0274-64-0973
〒370-2344 群馬県富岡市黒川 710-1

入稿データ作成に関するお問い合わせは【出力課】または【担当営業】まで

「入稿ガイド」「PDF入稿ガイド」は、若草印刷ホームページよりダウンロードすることができます。 <http://www.wakakusa.ne.jp>

本ガイドの内容は、予告なく変更される場合があります。本ガイドに記載のない設定を使用する際は、事前にご相談ください。